

## 再生可能エネルギーの導入等促進プラン（中間案）に係る パブリックコメントの要旨

### ◆ 意見募集期間

平成27年10月9日（金）から平成27年11月5日（木）まで

### ◆ 御意見等の件数

20件（御意見等提出者数 16人）

### ◆ 御意見の要旨

項目	意見の要旨
導入目標	○2020年の意欲的な導入目標の達成に向け、マネジメントができる仕組みを計画に盛り込んでいただきたい。
環境教育・環境学習	○再エネを利用した環境学習の実施も推進していただきたい。
景観配慮	○メガソーラー等の民間整備に際しての開発指導での限界もあり、府として適正な指針策定に取り組んでいただきたい。 ○環境と調和した再エネ導入が進むようにしていただきたい。
家庭向け施策	○補助金があれば、導入検討のきっかけになる。個人住宅での太陽光発電に補助金を出してほしい。
	○再エネも大事だが、省エネも大事。
	○高齢社会に対応した健康にもよい住宅「エコ&ヘルス住宅」に向けたプラットフォームの設置は良い。
地域向け施策	○地域での再エネ普及に向けた支援をしてほしい。
	○再エネを増やすことに賛成。小規模でも自分でエネルギーをつくり、みんなで取り組むことが重要。
	○長期的視点では、コスト削減にもなり、地域活性化にも繋がることから、推進していただきたい。
	○京都市内だけでなく、府北部でも推進してほしい。
	○再エネ導入が地球温暖化防止だけでなく、持続可能な地域づくりの基盤となり、地域の発展に繋がるものにしてほしい。地域特性に即した再エネ導入を図るため、振興局の機能強化による拠点整備により、エネルギーの地産地消を進め、地域活性化・過疎化対策として行ってほしい。
○地域での再エネ導入をサポートする人材育成と府民と行政が連携した導入促進を進めてほしい。	
小水力発電	○小水力発電の地域での活用には技術的知識が必要であり、技術的支援制度を検討いただきたい。
木質バイオマス	○木質バイオマス活用について、「製材端材や木材チップ」だけでなく、「木質ペレット」も含めた木質バイオマス全般を記載すべきではないか。

項目	意見の要旨
廃棄物利用	○生ゴミを燃料とした火力発電により、処分費を燃料費に置き換えることができる。
	○再エネは、電気・熱エネルギーだけでなく、生ゴミを利用したメタンガス、さらに水素燃料も見据えて、取り組んでいただきたい。
導入促進全般	○再エネ導入の障壁はコストであり、コストを下げる仕組みや安心して設置できる仕組みを推進していただきたい。
	○行政が介入してまで本当に導入すべきものなのか。導入した先の数十年後がよくなる保証はあるのか。
	○再エネは不要。今ある火力発電を大切に使うべき。